

## 委員会活動計画書

委員長名 和泉 京子

|  |   |
|--|---|
| <b>【委員会名】</b> 教育体制委員会  |   |
| <b>【メンバー】</b><br>◎和泉京子(武庫川女子大学)、鮎川春美(聖マリア学院大学)、<br>*¥岩佐真也(武庫川女子大学)、*大森純子(東北大学大学院)、<br>澤井美奈子(日本赤十字看護大学)、*土井有羽子(兵庫医療大学)<br>◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、( )所属名、50音順 |   |
| <b>【活動方針】</b><br>保健師教育課程選択制の効果と課題を明確にし、看護師教育課程に上乘せする活動を推進するとともに保健師教育課程の質を保証する評価基準について検討し、会員校の教育体制の整備を後押しする。  |   |
| <b>平成 28 年度</b>  |   |
| <b>達成目標</b>  | 1) 保健師教育課程における選択制の効果と課題を明確にする。<br>2) 保健師教育課程を看護師課程に上乘せする活動を推進する。<br>3) 保健師教育課程の評価基準を作成し、公表する。   |
| <b>活動計画</b>  | 1) ①選択制の効果と課題について意見を集約する方法を検討し、シートを作成する。<br>②各ブロックに、共通シートによる上記テーマのグループ・ディスカッションの実施を依頼し、ブロックからの結果報告と、記入されたシートを回収する。<br>③ブロックにおけるディスカッションを基に効果と課題を整理する。<br>④結果を公表し、会員校間での共有化を図るとともに、国への意見書等に反映する。<br>2) ①夏の研修会に、上乘せを推進する分科会を設け、本委員会が主催する。<br>②プレゼンターは大学院保健師教育課程の開設に関わり、かつ修了生を出した課程の教員、ならびに助産学専攻科の開設に関わった教員を招聘し、ディスカッションする。<br>③これから開設しようとする会員校の疑問に答える。<br>3) ①全保教として教育課程の評価基準を定める目的を明文化する。<br>②評価基準の作成方法を検討し、スケジュールを作成する。<br>③評価基準(案)を理事会で審議し、平成 29 年総会に報告する。 |